

日本法社会学会 2012 ミニシンポジウム③ ゲーミング法教育の思想と行動 — コアコンテンツの開発と方法としてのメディア —

日時場所 2012年5月12日(土) 9:30-12:30 京都女子大学

コーディネーター 久保山力也(青山学院大学)

プレゼンレーター／コメンテーター



井門正美

秋田大学教育文化学部／教授

ゲーミング法教育の理論—役割体験学習論に基づく実践的法教育



荒川歩

武蔵野美術大学造形学部／准教授

ウェブを使った法教育ゲームの提供可能性



松尾正博・松尾真悟

マイクロコト株式会社／代表取締役・取締役

ゲーム業界の現況とコンテンツ開発の課題



久保山力也

青山学院大学大学院法務研究科／兼任講師

携帯型法教育ゲームのリアリティ



ユン・イルジュン ()

韓国法務部／大田ローパークセンター長

体験型法教育の可能性—韓国ローパークの経験から

コメンテーター
／教授

上石圭一 追手門学院大学社会学部

ディスカッション

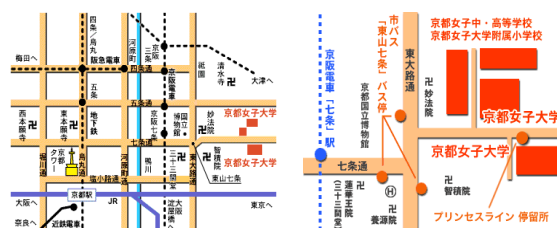
本ミニシンポジウムでは、①どのようなゲーミング法教育があり得るのか、またそれらが、②どのようなメディア(媒体)にて、③どのように効果的に機能し得るのかについて検討する。

ゲーミング法教育プロジェクトにおいては、法や紛争フィールドにおける種々の局面を細分化し、ゲーミング手法を用いゲーム化した上で、学校現場、研修、生涯教育、家庭教育など多様な場面、環境において使用可能な教材を開発する。

ウェブや携帯ゲーム媒体、非デジタル環境下など、さまざまな場面で、どのような展開と課題があるか、具体的な開発ゲームを参照しつつ考察する。

国による法教育の推進が顕著な韓国における事例も、あわせてとらえていく。

ロケーション



京都駅よりバスで10分-15分程度

シンポジウムに関するお訊ね 久保山力也(くぼやまりきや)
rikiya26@hotmail.com